十勝川治水100年記念事業 ークリレ



十勝多自然ネット NPO法人 靖幸 西江 氏



十勝毎日新聞 令和5年6月28日 3面 掲載

十勝川治水事業100年の 十勝川治水00年

98年に「十勝多自然型工法研 配慮した多自然型工法が主流 業は生態系などの自然環境に えられたことにより、治水事 まることを期待しています。 治水によってより安全度が高 され、治水、利水に環境が加 でもありません。 2016年 ています。新たな計画と流域 **媚計画の改定作業が進められ** 海道開発局では十勝川河川整 の4連続台風や近年の温暖化 先人たちの苦労は計り知れな 歴史は洪水との闘いであり、 による気候変動を受けて、 いものがあったことは言うま 1997年に河川法が改正

西江靖幸氏 十勝多自然ネット理事長

園にある高さ約2以の落差工 た売買川のサケのふるさと公



の24年間に多くの活動をして 自然ネット」へと改組し、 O1年に「NPO法人十勝多 建設業者6社で設立し、20

楽しく活動しています。 近な小河川の大切な役割や生 学生と水質検査をしたり、水 態系を理解してもらったりと 生生物をタモ網で採取して身



生態系の回復に奔走

下流の幌岡で2023の湿地を復

河川というものは、

元し生態系を回復させまし 合流点にある親水公園で30 た。さらに札内川と帯広川の 帯広近郊の5カ所ほどで「水 土砂を撤去して再び市民の憩 いの場として復元。近年は、

> に人の豊かな生活になくては 違えば人の命に関わるし、逆

きました。

故太田昇先生が活動してい

あります。 の人生の宝であり、 川に関わることで、 な社会資本整備であり、長年、 の生命と財産を守る大変重要 ます。治水事業とは地域住民 ならない大切な存在でもあり くのことを学べたことは、私

誇りでも

者の思いや将来に向けたメッ 治水事業と関わりのある関係 100周年の節目を迎えた。 十勝川の治水事業は今年、 (随時掲載)